



2000年ノーベル化学賞受賞
筑波大学名誉教授

白川英樹 氏

演題

科学を学ぶ ～日本語と英語～

平成29年 10月18日（水）
10：30～12：00

弘前大学創立50周年記念会館 みちのくホール
先着300名 ※要申込 入場無料



撮影者：菅野 和彦

白川 英樹（しらかわ ひでき）

専門：高分子化学、物質科学

1936年東京生まれ

東京工業大学工学博士

「導電性高分子の発見と開発」により、ノーベル化学賞を受賞

東京工業大学理工学部化学工学科卒業、同大学大学院理工学研究科博士課程修了、工学博士。東京工業大学助手、米国ペンシルベニア大学博士研究員を経て、筑波大学助教授、同教授。同大学院理工学研究科長、第三学群長を歴任し、2000年には筑波大学名誉教授となる。

2000年、「導電性高分子の発見と開発」に対して、ノーベル化学賞を受賞。その他、高分子学会賞（1983年）、高分子科学功績賞（2000年）、文化勲章（2000年）、他受賞多数。

主な著書に『合成金属—ポリアセチレンからグラファイトまで』（山辺時雄共編／化学増刊87）、『化学に魅せられて』（岩波書店）、『私の歩んだ道—ノーベル化学賞の発想』（朝日新聞社）などがある。

